香川大学生涯学習教育研究センター
NEWSLETTER Vol.14 No.1
発行:平成29年11月29日

1.公開セミナー実施報告

香川大学生涯学習教育研究センターでは、有料で実施する公開講座の他に、無料の公開セミナーも年数回実施しています。8月27日(日)に工学部キャンパスで実施した「わら葺き屋根を葺こう」と、10月1日(日)に多度津町林求馬邸で開催した「近代化と学問～19世紀末アジア知識人の葛藤～」を紹介します。

(1)わら葺き屋根を葺こう【体験講座】

伝統的なわら葺き屋根を葺く体験をしました。今日では稲わらの屋根を見る機会はほとんどなくなりましたが、昔は稲わらが大切な草葺き屋根の材料の一つとして利用されていました。今回のセミナーでは最も簡単な草葺き屋根だといわれる稲わらの屋根の葺き方を体験して頂きました。その葺き方は、兵庫県で今でも農業用の小屋に使われているものだそうです。4cmほどの厚みですが、雨漏りしないという優れものです。

①

②

③

④

⑤

①説明する釜床美也子先生(工学部)。
②体験用の小さな小屋の骨組みです。
③床で苫(とま)を編みます。
④苫を結んで小屋と合体させます。
⑤わら葺き小屋の完成!

朝9時に始まったセミナーですが、参加者全員の協力により、無事にわら葺き小屋を完成させることができました。

受講生のみなさん、釜床先生と協力して下さった工学部の学生さん、有り難うございました。

(2)近代化と学問～19世紀末アジア知識人の葛藤～【シンポジウム】

国の文化審議会は「今後の文化財保護行政の在り方について」(平成25年12月13日)において「文化財は、単にそれらを限られた人々で守り、価値を損なうことなく後世に継承していくという「保存」の観点だけでなく、地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親しんでもらうという「活用」の観点からも、その保護を図る必要がある。」と謳っています。それを受けて、平成27年度より、香川県教育委員会と香川大学が連携して、県内の文化財建造物において公開セミナーを企画・実施しています。

27年度の細川家住宅(さぬき市)、28年度の宇夫階神社・西光寺船屋形茶

室（宇多津町）に続き、今年度は林求馬邸（多度津町）で開催しました。

慶応三年（1867年）に建てられた多度津藩家老林求馬邸には、陽明学者であった林良斎が大塩平八郎や池田草庵などの多くの学者との交流を示す資料が残っています。しかし、林求馬邸が建てられた直後に明治維新がおこり、日本の学問は陽明学をその一部に含む東洋の学問体系から西洋の学問体系へと、大きくシフトしました。同じ頃、東洋の学問の発祥地である中国でも、近代化（欧米化）と無縁ではいられませんでした。

日本と中国の知識人はどのような葛藤の中で西洋の学問に向き合っていたのか。山本裕、張暁紅（以上、経済学部）、山本珠美（当センター）の3名が、同テーマについて語り合いました。

この「近代化と学問」については、平成30年3月刊行の『生涯学習教育研究センター研究報告』第23号に、その内容を掲載します。（文責:山本）

※林求馬邸は、原則毎月第一日曜日に公開されています。詳細は多度津町HPでご確認下さい（http://www.town.tadotsu.kagawa.jp/itwinfo/i135/）。

2. 第39回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会の報告

今年度の全国国立大学生涯学習系センター研究協議会（以下、協議会）は徳島大学を当番校として開催されました。全体テーマは「地域を育むこれからの生涯学習のかたち」とされ、記念講演、フォーラム、総会、全体会・分散会が行われました。紙幅の関係で、主だったところのみの報告とします。

記念講演は、徳島県神山町の特定非営利活動法人グリーンバレー理事長の大南真也氏によるものでした（http://www.in-kamiyama.jp/）。日本のみならず、世界的にも注目を集める神山プロジェクトですが、その神髄といってよい「創造的過疎」について、神山の物語とともに語って下さいました。持続可能な地域の構築を目指し、「アート」、「すまい」、「農と食」、「しごと」など幅広い分野で、多様なステイクホルダーが自由な発想で取り組み、つながっている様子が伝わってきました（http://creative-village.jp/index.html）。

全体会・分散会は、「大学生涯学習IR」をテーマに協議を行いました。全体会では、北海道大学総合IR室教学部門の宮本淳特任准教授に基調講演をいただき、大学におけるIRの歴史も踏まえつつ現状の取組状況についての解説がありました。それを受けて分散会では、各大学のIRへの取組状況を共有するとともに、本協議会で今後どのようにこの課題に取り組めばよいか意見交換をしました。これをキックオフと位置づけ、今後2年間の取組の方向性の確認をしました。

さて、本協議会の新年度より、清國祐二が会長に就任し、山本珠美が事務局長として協議会の運営の切り盛りをしていくこととなりました。本協議会は昭和54（1979）年に第1回が香川大学で開かれ、来年で40年を迎えます。日本をリードするセンターとなるべく、総力を挙げて取り組んでいきます。（文責:清國）

センター雑感

昨年の今頃は、丸亀市の第3次生涯学習推進基本計画の策定に大いに力を注いでいた時期でした。今年度は三豊市の図書館基本計画の策定に関わっていますが、昨年度の経験が生きている実感があります。経験の積み重ねは大事ですね。（山本）

Tel. 087-832-1273　Fax. 087-832-1275　URL. http://www.kagawa-u.ac.jp/lifelong/　Email. syogse@ao.kagawa-u.ac.jp